

平成30年度予算見積調書

課室名：道路街路課

担当名：県道担当

内線：5074

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B7	社会資本整備総合交付金（改築）事業費		一般会計	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費	社会資本整備総合交付金（改築）事業費	
事業期間	昭和23年度～	根拠法令	道路法		宣言項目	04	地域をつなぐ社会基盤の整備	
					分野施策	041039	埼玉の活力を高める道路ネットワークの整備	
1 事業概要			5 事業説明					
安全で円滑な道路交通の実現を図るため、現道拡幅やバイパス整備を行い、道路ネットワークの構築を図る。			(1) 事業内容 高速道路を軸とした幹線道路網を整備するため、基幹となる道路や地域の生活を支える身近な道路等について、社会資本整備総合交付金を活用して、バイパス整備や現道拡幅等を実施する。					
(1) 地域活力基盤創造事業 (改築) 4,982,864千円 (維持) 115,200千円			○主要施策 ・魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備 2,126,000千円 県内の企業立地ポテンシャルを高めるため、開通目標年度を公表し、インターチェンジアクセス機能強化のための道路整備を推進する。					
(2) 地域自立・活性化事業 (改築) 898,665千円 (維持) 454,000千円			(2) 事業計画 一般国道254号（朝霞市・志木市・和光市・富士見市）外 35箇所 うち、主要施策に関する箇所 ・魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備 飯能寄居線（日高市）外 3箇所					
(3) 地域住宅事業 (改築) 237,000千円			(3) 事業効果 広域的な幹線道路ネットワークを整備することにより、地域の交流や経済活動を支え、均衡ある県土の発展に寄与する。					
2 事業主体及び負担区分			○主要施策による効果 ・魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備 インターチェンジへのアクセス性が向上し、企業立地ポテンシャルが高まり、新たな企業立地を促進する。					
(1) (国5.5/10・県4.5/10) (国1/2・県1/2)								
(2) (国4.5/10・県5.5/10)								
(3) (国5.5/10・県4.5/10)								
3 地方財政措置の状況								
公共事業等債 充当率90%（通常分50% 財対分40%） 交付税措置 財対分50%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
(1) 事業に係る人件費 321,100千円(33.8人)								
(2) 組織の新設、改廃及び増員 なし								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金	諸収入	県債				
決定額	6,687,729	3,131,076	600,000	2,955,000			1,653	
前年額	6,045,500	3,061,050	40,000	2,941,000			3,450	